

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 滋賀県の傾向

身長、体重および座高は、男女とも横ばいで推移しています。

### 2 全国との比較

身長、座高は、男女とも多くの年齢で、全国平均値と同じかまたは上回り、体重は、男女ともほとんどの年齢で、全国平均値を下回りました。

17歳女子の座高が全国第1位、7歳男子の身長と15歳女子の身長が全国第3位、7歳男子の座高と14歳女子の身長が全国第4位、16歳女子の身長と17歳女子の身長は全国第5位、13歳男子の体重と14歳女子の体重が全国最下位の第44位になりました。

### 3 「親の世代」との比較

身長、体重は、ほぼ全ての年齢で「親の世代」である30年前（昭和56年度調査）の県平均値を上回っていますが、女子の体重の14歳から17歳などは親の世代を下回っています。

30年前と体格差が最も開く年齢は、男子では、身長が12歳で、体重が17歳で、女子は、身長が10歳で、体重が11歳です。

### 4 主な疾病・異常

「鼻・副鼻腔疾患」、「蛋白検出の者」および「ぜん息」の人の割合は、全ての学校種別で全国平均値を下回っています。また、幼稚園および小学校における「裸眼視力1.0未満」の人の割合は、全国平均値を下回っています。

「むし歯（う歯）」の人の割合は、平成20年度から全ての学校種別で減少傾向にありましたが今年度は、幼稚園および小学校で増加に転じました。